

分類 C-1-②-ア

複数の情報から、自らの課題や目的に応じた選択をし、課題解決の計画を立てたり、評価・改善したりする

課題を見つけて、よりよい動きを目指そうとする態度の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト たつの市立越部小学校 大路 直也

本時の目標 ・「1、2、345」のリズムで助走し、強く踏み切ることができる。 ・お手本の動画やグループ内で撮影した動画を見てアドバイスし合い、よりよい踏み切りや跳躍姿勢を目指して練習することができる。 ・目的に応じた練習方法を選択することができる。	校種・学年	小学校・6年
	教科・領域	体育・走り高跳び
	アプリ・ソフト	・タイムシフトカメラ ・NHK for school
	備考	・端末(カメラ)

○本時の展開

	○学習活動（◆指導上の留意点）
導入	○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分の課題を見つけて、練習しよう</div> ○手本動画で大切なポイントを確認する。 ◆安全な撮影位置を考えて、撮影することを伝える。
展開	○グループで練習に取り組む。 ○1人3回連続で跳躍し、次の人に交代する。 ○自分の跳躍の動画をお手本の動画と見比べ、課題を探す。 ○グループの友だちとお互いの課題についてアドバイスし合う。 ○自分の課題に応じた練習をする。 （踏切版・ミニハードル・バスケットゴール） ◆手本動画と撮影角度が同じになるように撮影することを伝える。
まとめ	○ふり返りをする。 ◆自分の記録や課題に対して、できたことや次の時間にがんばりたいことを書くように伝える。

育成できる情報活用能力

◎お手本の大切なポイントの視点で自分の動きを確認することができるようにする。



育成できる情報活用能力

◎お互いの跳躍についてアドバイスし合うことで、様々な視点から課題の解決方法を考えることができる。



児童の感想

- ・足裏全体で踏み切ることができた。
- ・着地した時にうでが上がり気味だったので、気をつけたい。
- ・前の時間の記録よりも高く跳ぶことができた。踏み切る時にもっと腕を上げたい。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・自分の動きを客観的に見ることができ、お手本の動きと見比べて、課題を探すことができた。
- ・自分の課題に応じて、練習方法を考えることができた。